

議案第65号

令和5年度

五所川原市水道事業会計補正予算書

令和5年度五所川原市水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 令和5年度五所川原市水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出）

第2条 令和5年度五所川原市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第4条中「694,001千円」を「694,065千円」に、「44,102千円」を「44,166千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（ 科 目 ）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入			
第1款 資本的収入	655,176千円	29,900千円	685,076千円
第1項 企 業 債	620,300千円	29,900千円	650,200千円
支 出			
第1款 資本的支出	1,349,177千円	29,964千円	1,379,141千円
第1項 建設改良費	970,337千円	29,964千円	1,000,301千円

（企業債）

第3条 予算第6条に定めた企業債の限度額を次のように改める。

起債の目的	補正前	補正後
水道施設建設事業に充てるため	620,300千円	650,200千円

令和5年6月16日提出

五所川原市長 佐々木 孝 昌

補正予算に関する説明書

地方公営企業法第25条及び同法施行令第17条の 2の規定に基づく予算に関する説明書

- 1 令和5年度五所川原市水道事業会計補正予算実施計画
- 2 令和5年度五所川原市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
- 3 令和5年度五所川原市水道事業予定貸借対照表

1 令和5年度五所川原市水道事業会計補正予算実施計画

(資本的支出)

収 入

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)
1資本的収入			655,176	29,900	685,076
	1企業債		620,300	29,900	650,200
		1企業債		620,300	29,900

支 出

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)
1資本的支出			1,349,177	29,964	1,379,141
	1建設改良費		970,337	29,964	1,000,301
		1施設費		892,581	29,964

2 令和5年度五所川原市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	61
減価償却費	475,948
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,630
長期前受金戻入額	△45,564
受取利息及び配当金	0
支払利息及び企業債取扱諸費	69,425
有形固定資産除却費	22,440
未収金の増減額(△は増加)	△443
未払金の増減額(△は減少)	36,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△443
引当金の増減額(△は減少)	615
その他流動資産の増減額(△は増加)	0
その他流動負債の増減額(△は減少)	△375
小計	<u>559,731</u>
受取利息及び配当金	0
支払利息及び企業債取扱費	<u>△69,425</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>490,306</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△910,949
国庫補助金等による収入	34,875
国庫補助金等の返還による支出	<u>△1,300</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△877,374</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	650,200
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△377,540</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>272,660</u>
資金増加額(又は減少額)	△114,408
資金期首残高	<u>1,548,470</u>
資金期末残高	<u><u>1,434,062</u></u>

3 令和5年度五所川原市水道事業予定貸借対照表
(令和6年3月31日)

資 産 の 部

(単位：千円)

1	固定資産						
(1)	有形固定資産						
	イ	土地				339,236	
	ロ	建物				430	
	ハ	減価償却累計額	881,801				
			<u>△ 476,496</u>			405,305	
	ニ	構築物	19,963,587				
		減価償却累計額	<u>△ 9,907,194</u>			10,056,393	
	ホ	機械及び装置	2,273,442				
		減価償却累計額	<u>△ 1,552,924</u>			720,518	
	ヘ	車両運搬具	17,960				
		減価償却累計額	<u>△ 15,956</u>			2,004	
	ト	工具、器具及び備品	75,894				
		減価償却累計額	<u>△ 70,021</u>			5,873	
	チ	建設仮勘定				29,473	
		有形固定資産合計					11,559,232
(2)	無形固定資産						
	イ	ダム				5,091	
	ロ	電話加入権				<u>123</u>	
		無形固定資産合計					5,214
(3)	投資その他の資産						
	イ	その他の投資				<u>26</u>	
		投資その他の資産合計					<u>26</u>
		固定資産合計					11,564,472
2	流動資産						
(1)	現金・預金						1,434,062
(2)	未収金					194,572	
	貸倒引当金					<u>△ 13,153</u>	181,419
(3)	貯蔵品						<u>28,174</u>
		流動資産合計					<u>1,643,655</u>
		資産合計					<u><u>13,208,127</u></u>

負債の部

3	固定負債				
(1)	企業債				
	固定負債合計		<u>5,438,399</u>		5,438,399
4	流動負債				
(1)	企業債		391,307		
(2)	未払金		215,895		
(3)	引当金		12,403		
(4)	その他流動負債		<u>35,759</u>		
	流動負債合計				655,364
5	繰延収益				
(1)	長期前受金		2,387,356		
(2)	収益化累計額		<u>△ 1,257,976</u>		
	繰延収益合計				<u>1,129,380</u>
	負債合計				<u>7,223,143</u>

資本の部

6	資本金				4,543,827
7	剰余金				
(1)	利益剰余金				
	イ 減債積立金		871,432		
	ロ 建設改良積立金		525,562		
	ハ 当年度未処分利益剰余金		<u>44,163</u>		
	利益剰余金合計			<u>1,441,157</u>	
	剰余金合計				<u>1,441,157</u>
	資本合計				<u>5,984,984</u>
	負債資本合計				<u>13,208,127</u>

注記

1 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 15～50年

構築物 10～40年

機械及び装置 8年

車両運搬具 5年

工具、器具及び備品 5～15年

ロ 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

ダム使用权 55年

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

職員の退職手当は、青森県市町村職員退職手当組合における積立金相当額を超過した場合、一般会計が負担するため退職給付引当金は計上していない。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当等の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4カ月分）を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 リース契約により使用する固定資産

(1) リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは以下の金額である。

1年内 1,319,538円

1年超 486,090円

計 1,805,628円

4 その他の注記

(1) 引当金の取崩し

当事業年度において、職員の期末手当及び勤勉手当等の支給のために、賞与引当金12,049千円を取り崩しする予定である。

